

海外安全対策情報（平成29年10月～12月（平成29年度第3四半期））

1. 社会・治安情勢

イエメン各地で正統政府と反政府勢力の戦闘が継続し、国内の人道状況、経済状況の悪化が深刻化しています。2017年12月末現在、反政府勢力が首都サヌアを中心とする北部地域を実効支配する一方、イエメン正統政府はアデンを中心に南部地域を統治しています。

（1）2015年3月26日以降、ハーディ大統領の要請を受けたサウジアラビア主導連合軍が正統政府を支援する形でイエメン全土にて軍事行動を展開。2017年12月末現在、サヌア県、サアダ、タイズ、マアリブ、ジョウフ、ハッジヤ、シャブワ、ラヘジ、ホデイダ、ベイダ、サウジアラビア・イエメン国境地帯等で、空爆や戦闘が続いています。

（2）南部地域では、「アラビア半島のアル・カーイダ」（AQAP）および「イラク・レバントのイスラム国」（ISIL）戦闘員による軍事・治安基地、検問所への襲撃が頻発しました。治安部隊はAQAP潜伏地域での掃討作戦を行い、米国はアビヤン県、シャブワ県、ベイダ県、マアリブ県等で、AQAPに対する無人機攻撃を継続しています。

（3）11月、ホーシー派が支配するイエメン北部地域で仏人2名がホーシー派に拉致される事案が発生しました。（サウジアラビア主導連合軍が2名を救出）

（4）2017年4月末頃からコレラの感染が再び拡大し、国際機関によるワクチン接種等の医療活動が行われていますが、12月末現在も、イエメン各地で多数のコレラ感染者とコレラによる死者が報告されています。また、11月以降、ジフテリア感染症による死者も報告されています。

2. テロ・爆弾事件等発生状況（空爆、戦闘を除く。）

（1）10月5日、アビヤン県ムウディヤ郡で、治安ベルト部隊車両を狙った爆発が発生し、同部隊兵士4名が死亡、3名が負傷。

（2）10月10日、アデン県シェイク・オスマン地区で、ザイド派モスク説教師の車両を狙った爆発があり、同人が死亡、その息子が負傷。

（3）10月15日、アデン県スベイハ地区の人民抵抗軍指揮官宅で、武装分子の銃撃により、同指揮官息子が死亡。

（4）10月18日、アデン県マンスーラ地区で、武装分子の銃撃によりイスラム導師が死亡。

（5）10月23日、アビヤン県の治安ベルト部隊基地で、車両による自爆テロが発生し、AQAP分子4名、治安ベルト部隊兵士2名が死亡。AQAPが犯行声明を発売。

（6）10月27日、ハドラマウト県セイユン中心部で、政府軍警察拠点を狙った爆発があり、政府軍兵士3名が死亡。

(7) 11月5日、アデン県ホール・マクサル地区アデン治安局本部付近で、自動車爆弾テロと銃撃戦が発生し、46名が死亡、少なくとも47名が負傷。ISILが犯行声明を発売。

(8) 11月5日、アデン県ダール・サアドで、イスラーハ党事務所を武装分子が爆破。

(9) 11月14日、アデン県アブドルアジーズ地区にて、「治安ベルト」部隊本部を狙った自動車爆弾テロが発生し、同部隊兵士4名が死亡し、周辺の家屋が大きく損傷。ISILが犯行声明を発売。

(10) 11月19日、ハドラマウト県のシバームで、ハドラマウト精鋭部隊と関係を有する退役将校が武装分子による銃撃を受け死亡。

(11) 11月25日、アデン県シェイク・オスマン地区で、犯罪捜査局幹部が銃殺された。同日、ISILが犯行声明を発売。

(12) 11月27日、アデン県マンスーラ地区で、銃撃により1名が死亡。ISILが犯行声明を発売。

(13) 11月29日未明、アデン県ホール・マクサル地区で、財務省施設を狙った自動車爆弾テロが発生し、4名が死亡、4名が負傷し、同施設が損壊。ISILが犯行声明を発売。

(14) 12月24日、ホデイダ西部の公共バスに対する爆弾事案が発生し、市民5名が死亡、7名が負傷。

(15) 12月24日、タイズ県モカ・ホーハ間の路上で2個の爆発物により市民6名が死亡。